

社会参加で生きがいづくり

# さいたまシルバー



「与野の大力ヤ」

目次

- 理事長挨拶・市長挨拶 ..... 2～3
- 事業実績 ..... 4～5
- 女子会活動報告・各種講習会・安全だより ..... 6～9
- 就業会員の声・発注者の声 ..... 10～12
- 地域班活動・親睦互助会 ..... 13～15
- お知らせ・表紙の言葉・編集後記 ..... 16

第39号

2021.1.1



公益社団法人 さいたま市シルバー人材センター

〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1

さいたま市大宮ふれあい福祉センター 内

Tel:048-669-0303 Fax:048-669-0305

さいたま市シルバー

検索

<https://saitama-sjc.or.jp/>



## 新年のご挨拶

公益社団法人 **さいたま市シルバー人材センター**

**理事長 佐伯 鋼兵**

新年あけましておめでとうございます。  
会員の皆様ならびに関係者の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当センター事業運営につきまして、格別のご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルスが流行し、私たちがかつて経験したことのない重大な危機を迎え、今もなお世界中で混乱が続いております。このような社会状況下で、

多くの方が自粛を余儀なくされ、孤独や苦難を抱えていることに、たいへん心を痛めております。会員の皆様の中にも、お仕事をはじめ、地域に貢献したいお気持ちを抑え、活動を休止されている方がいらっしゃることに、察するに余りあるものがあります。

しかし、世の中が他者の助力を必要としている今だからこそ『自主・自立、共働・共助』を理念とするシルバー人材センターが必要とされるものと考えております。

本年は丑年でございますが、

今できることは何かを考えて、必ず訪れるアフターコロナの未来に向かい一歩一歩、皆様と共に前進してまいりたいと考えております。

そして、一陽来復という言葉葉があるとおり、この苦境を乗り越えた先には、これまで以上に多くの受注をいただき、さらに活発な事業活動が展開されるものと思っております。そのためにも、一日も早く終息することを切に願っております。

また、本年は、10月1日をもって、当センター設立20周

年を迎えます。この節目となる記念すべき年を皆様と共に祝うことができることは、感謝と喜びに堪えません。

今後も当センターが、地域社会においてさらなる真価を発揮し、多くの方に愛される団体であり続けられるよう、役職員一同尽力をいたしますので、会員の皆様ならびに関係者の皆様方には、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びになりますが、会員の皆様ならびにご家族の皆様の健康とご活躍を願い、また新しい年が皆様にとって幸多き素晴らしい一年となりますことを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

さいたま市長 清水 勇人

新年、明けましておめでとうございます。

シルバー人材センター会員の皆様をはじめ、関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃から市政全般にわたる格別の御支援と御協力を賜り、感謝と御礼を申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症という未曾有の危機は、市民生活や市内経済に甚大な影響を与えました。

これまで、本市では、関係機関と連携しながら、医療体制の充実など、市民の皆様の

命や生活を守るための取組に全力を傾けてまいりましたが、市内においてもクラスターが発生するなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

引き続き、市民の皆様には、手洗いやマスクの着用などの基本的な感染症対策の徹底をお願いいたします。本市といたしまして、更なる感染拡大に備えた体制を整備したうえで、落ち込んだ市内経済を活性化する取組を推進し、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図ってまいります。

さて、本年は、さいたま市

シルバー人材センター設立及び本市誕生から20周年を迎える年であります。この大きな節目の年に、昨今の困難な状況を乗り越え、ウィズコロナ、アフターコロナ時代に向けて、共に歩みを進めてまいりたいと考えております。

そのために、本市では、令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とする新たな「さいたま市総合振興計画 基本計画」を策定し、重点戦略の1つとして持続可能なまちづくりを進め、市民一人ひとりが生涯現役で活躍し、生き生きと長生きして暮

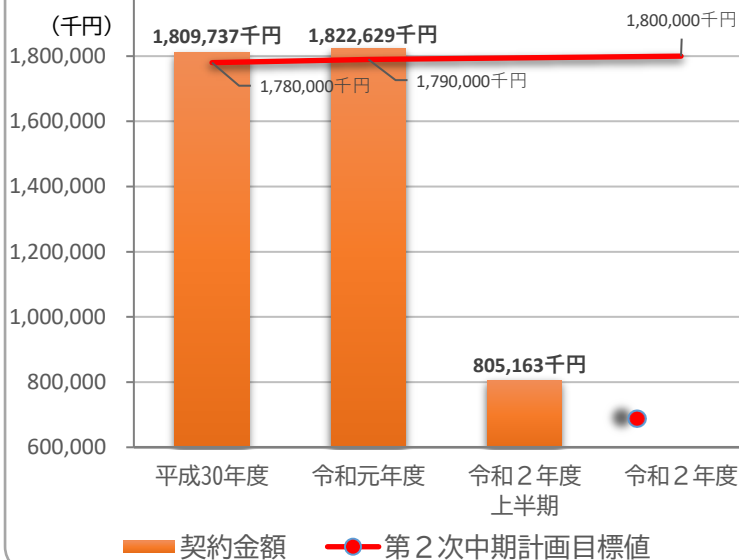
らせる地域共生社会を目指してまいります。

急速な高齢化の進行に対応し、高齢者が自分らしく活躍できるよう、セカンドライフの充実に向けた取組を進める上で、シルバー人材センター会員の皆様には、長年培ってこられた技術や経験を活かして、様々な就業先で御活躍いただき、生涯現役社会の実現にお力添えいただくことを期待しております。

最後になりますが、新しい年が会員の皆様方にとって健康で幸多き素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げますとともに、シルバー人材センターの益々の発展を御祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

## 令和2年度 上半期事業実績

### 契約金額



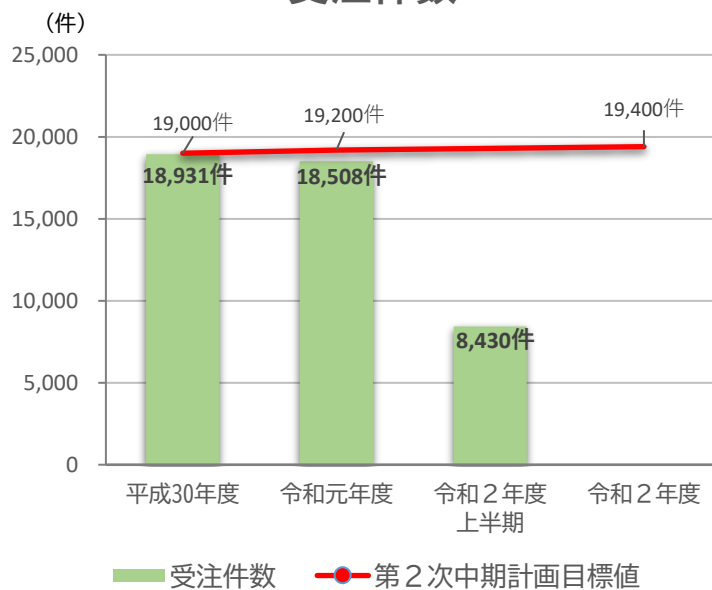
### 契約金額について

令和2年度上半期の契約金額は、新型コロナウイルスの影響による就業休止や時間短縮もあって、請負、派遣ともに落ち込みました。また、緊急事態宣言解除後には、休止した単発業務を再開しましたが、コロナの影響が尾を引いて契約金額は減少しています。

(単位：千円)

| 契約金額      |         | 前年比      |
|-----------|---------|----------|
| 令和2年9月末現在 | 805,163 | -122,340 |
| 令和元年9月末現在 | 927,503 |          |

### 受注件数



### 受注件数について

令和2年度上半期の受注件数は、契約金額と同様に前年に比べて減少しています。緊急事態宣言期間中に、休止とした福祉・家事援助サービスをはじめ、単発業務の主要となる植木剪定と除草業務の減少が大きく影響を及ぼしました。

(単位：件)

| 受注件数      |        | 前年比    |
|-----------|--------|--------|
| 令和2年9月末現在 | 8,430  | -2,298 |
| 令和元年9月末現在 | 10,728 |        |

## 会員数



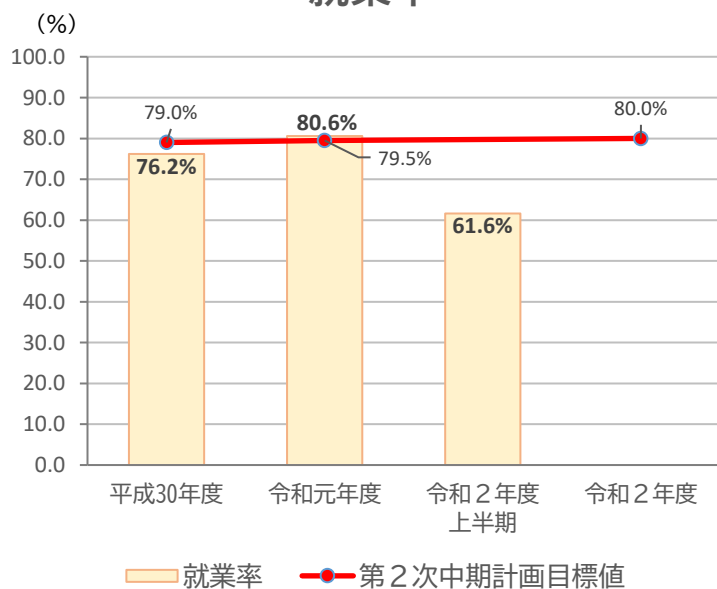
## 会員数について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月に予定していた入会説明会を中止しました。また、4月から6月は、登録手続きのみ実施することで入会促進を図りましたが、それでも前年同月と比べて入会者は減少しています。

(単位：人)

| 会員数       |       | 前年比  |
|-----------|-------|------|
| 令和2年9月末現在 | 5,116 | -274 |
| 令和元年9月末現在 | 5,390 |      |

## 就業率



## 就業率について

令和2年度上半期の就業率については、受注件数と比例するように前年に比べて減少しています。今年度は選挙関連の業務や夏祭りなどイベント関係の仕事が無かったことも、就業率低下の要因の一つと考えられます。

(単位：%)

| 就業率       |      | 前年比  |
|-----------|------|------|
| 令和2年9月末現在 | 61.6 | -7.1 |
| 令和元年9月末現在 | 68.7 |      |

# 女子会ギャラリー



**女子会とは**  
女性会員による、女性会員のための交流活動で、女性であればどなたでも気軽に参加できて楽しく過ごせる仲間づくりの場です。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、残念ながら女子会の活動の大部分を自粛する現状となりました。  
今号では、これまでに実施されたイベント等の写真をいくつか掲載し、活動内容をご紹介します。



郷土かるた



初耳学トーク



お茶会



ウッドビーズネックレス作り



手芸の集い



ハンドマッサージ



笑いヨガ

リラクゼーション

女子会へ参加された方へシルボンヌスカーフをプレゼントしています





鉄道博物館(てっぱく)見学

## 女子散歩



造幣局さいたま支局工場見学



大宮盆栽美術館見学

女子会では、お茶を飲みながら演奏を聴いたり合唱したり、お花見や健康体操など、写真にある以外にもいろいろな「女子会」を企画し開催していて、参加された方からは「とても楽しかった」と好評です。  
女性会員であればどなたでも参加できますので、ぜひお気軽にご参加ください。



蒸しパン・クッキー作り

## クッキング



巻き寿司とお団子作り



揚げドーナツ・バナナボート作り

**各種講習・研修**

今年度上半期に実施された講習や研修は、次のとおりです。  
パソコン研修ほか多くの研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止または延期となりました。

**会員講習・研修**

当センター主催の会員を対象とした技能及び資質向上を図る講習や研修です。



① 刈払機取扱研修

7月7日 15人参加  
会場・七里総合公園



② 接遇研修

9月8日 42人参加  
会場・大宮ふれあい福祉センター



③ 救命講習

その1

9月10日 18人参加  
会場・大宮ふれあい福祉センター



その2

9月15日 20人参加  
会場・大宮ふれあい福祉センター



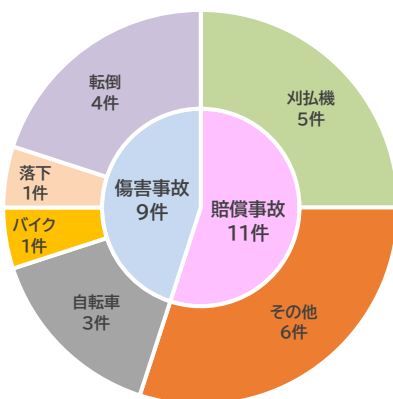
## 安全だより

## 令和2年度上半期事故状況

|      | 傷害 | 賠償 | 合計 |
|------|----|----|----|
| 当年度  | 9  | 11 | 20 |
| 前年同月 | 11 | 12 | 23 |
| 増 減  | ▲2 | ▲1 | ▲3 |

令和2年度上半期事故状況は左記のとおりです。  
前年度と比較して、件数は微減の状況にあります。

傷害事故に関しては、就業途上の自転車事故によるケガが3件発生しています。また、意識不明となる重篤な落下事故も発生しており十分な注意をお願いいたします。



また、就業中の車両事故が5件発生しています。年々増加の傾向にあり対人事故も発生しています。個人の車利用も含め運転には充分注意してください。

賠償事故に関しては、刈払機を使用する事故が相変わらず多く(5件)安全委員会でもさらなる安全対策の検討を重ねています。また、自転車では歩道を走行中、歩行者にケガを負わせる事故が発生しました。このようなケースは、シルバー保険を使う事ができない事故ですので、事故を起こさないことはもちろんですが、埼玉県では自転車賠償責任保険の加入が義務化されていますので、未加入の場合は必ず加入してください。

## 高齢者自転車交通安全講習会

10月20日に大宮事務所にて、ブリヂストンサイクル株式会社ご協力のもとに高齢者自転車交通安全講習会を実施しました。午前の部・午後の部の講習を実施し計29名が参加しました

参加者には安全運転の重要性、加齢による能力低下を再認識していただきました。

## 安全スローガン募集

会員の皆さんの安全意識の高揚と啓発を目的に、安全委員会で決定し、当センター独自の安全スローガン(標語)を募集しています。《12月の会員ニュースにてお知らせ済み》

会員の皆さんが少しでも安全に對して意識をもっていたら、事故やケガは減少します。この機会に皆さんが日頃から気をつけている事、ハツとした経験などをスローガンにしてみましょう。

## 〈安全の日をご存じですか?〉

さいたま市シルバー人材センターは、毎月10日を「安全の日」と定めています。「不断の心がけと良い習慣作り」で安全就業を実践しましょう!

選ばれた安全スローガン(標語)は、定時総会にて表彰し、2年間使用します。

《締切り》令和3年1月29日まで

## 就業会員の声

### 大宮会員 伊藤 秀夫さん

高齢者生きがい活動センター受付業務に就業している伊藤秀夫さんにお話を伺いました。

「私の就業場所はシルバー人材センター大宮事務所内にある受付です。から会員の皆さんとは既に顔を合わせている方多いと思います」

「仕事は、まず高齢者生きがい活動センター内のシニア憩いの家と福祉活動室で活動している、カラオケダンス、体操、囲碁など30ほどの地域の高齢者グループの利用申し込み受付と、活動に必要なカラオケ機器や備品などの管理です。利用申し込み受付は同じ建物内にある講座室、研修室についても行っています」

「利用者に気持ちよく活動して頂けるように、エアコン調整や機器の準備、分かりやすい案内や声掛け、素早い忘れ物点検などを心がけています。コロナ禍で、現在は活動中止していますので、少し寂しい

ですね」「また屋上、外壁、空調設備、照明、水道、火災報知器、AED、防犯等、この建物全体の日常の管理点検も重要な仕事です」と話されました。

一方、実家の庭木の手入れをするために、シルバーで植木剪定の講習を受け、そのまま植木班に所属し、月に数回就業することもあるそうです。健康の源は「歩くことと、食べすぎない、飲みすぎないこと」とおっしゃる通り元気で活動的な方とお見受けしました。

(取材・後藤編集委員)



### 与野会員 岡田 周三さん

岡田さんは、北与野駅からほど近い株式会社芝浦電子様で、郵便物や宅配物の仕分け、部門別への出荷、配送などの仕事を、シルバー会員4人でローテーションを組み、リーダーとして行っています。

「一日平均70通程の郵便物、宅配物が様々などところから来るので、どの部門に届けるかを判断するのは難しい。総務、研究開発、製造等、宛名が書かれてなく、会社名だけで届くものもあります。作業を迅速にするため、会社内の組織や人事で時々変わる社員の顔を覚えてた方が良く、名前を覚えると社員の方から挨拶してもらえるようにもなります」と話されました。

仲間のシルバー就業者に分かりやすいように、詳しい仕事マニュアルを作成し、作業状況をパソコンで管理するチェックシステムに工夫したそうです。正社員のような心構えで、積極的に仕事に取り組んでおられる様子がよくわかります。

「仕事を担うということはそのう

うことですよ。同じやるなら、そのほうが楽しいですよ」とおっしゃいました。

岡田さんは北海道小樽の生まれの71歳、会社では札幌、東京の支店長を務め、退職後は会社のグループ全体の健康保険組合の仕事をされました。現在は奥さんと2人暮らし、3人のお子さんに恵まれたそうです。

仕事について語るとき、お仕事がお好きな様子が伝わってきました。お話が終って立ち上がり、マフラーをおしゃれに巻かれた姿がダンディで、印象的でした。

(取材・馬場編集委員)



**岩槻会員 一戸 兼雄さん**

一戸さんは、岩槻諏訪公園内の清掃と管理の仕事の他、数件もの清掃業務に対応されています。

諏訪公園は現在、雨水貯留施設の工事中ですが、7名のシルバー会員がそれぞれ週1回、5時間(午前中4時間、午後は16～17時の1時間)の業務に携わっています。

公園内には少年サッカー、フットサル、グラウンドゴルフコートと温水プールの有料施設の他、備品倉庫、駐車場、駐輪場等があり、一戸さんたちは施設の開設・利用管理・施設と除草作業に当たっています。

「公園内には広葉樹の原木が多く、秋は枯れ葉を掃き集め、ポリ袋に詰めてゴミ収集場に運ぶ作業で大変ですが、公園利用者が快適に過ごせるように作業に注力しています」と話されていました。

諏訪公園業務の他、建設会社本社ビルの清掃、マンション清掃3件と健康な体で元気にシルバー業務に対応されています。

一戸さんは青森県弘前市出身で

78歳、京都に本社のある食品材料

の会社で45年間勤務、職場の群馬県太田市の工場まで岩槻から車通勤され、製造課長として職務を全うされました。奥様の重い病気で一度シルバーを退会し、介護に集中されましたが、他界されてしまい、現在は一人暮らしのことです。

趣味はゴルフとグラウンドゴルフ、家族との印象に残る思い出は、奥様や都内在住の娘さんご夫婦と一緒にプレイした栃木やサイパンでのゴルフ、とのこと。

グラウンドゴルフの腕前は一流で「連盟役員を務めていたが、シルバーの仕事に専念し社会に貢献したい、とキッパリ退任した」とのこと。シルバーの仕事への真摯な姿勢に敬服しました。(取材・菅野編集委員)

**パシフィックシステム****株式会社 様**

パシフィックシステム(株)様は、太平洋セメント(株)のシステム部門が独立し一九八〇年に誕生。品質管理から出荷・販売・重機稼働管理システム等を顧客ニーズに応じて、企画・開発する会社です。

総務部、総務グループマネージャーの平田英明様をお訪ねしました。平田様は、シルバー人材センターについては、15年前から認識はされていたそうです。

「以前は障がい者の方に依頼していましたが、退職しとれない後任を模索したところ、シルバー人材センターが候補として浮上、それがきっかけとなりました」と言われました。

会員の就業は平成29年5月からで、宅配業者からの荷物の受領と、それを指定された部署へ届ける、それと昼食のお弁当(150個)を部署の人数別に仕分けし、配布する事が主な業務です。

「搬送には台車を使用、身体の負担が少なくなればと思っています。また、社員と同様な仕事ぶりです。かっています」と言われました。

「就業は月々金曜で1名、9時～12時の3時間を2名のローテーションで、予定表もシルバーさんにまかせています。精密機器の取り扱いも丁寧で、業者との対応もきちんとしています」との評価も頂き、会員への信頼の厚さを感じました。

また、「作業の要領も把握しているので現状のままで継続していただければ」と言われました。

(取材・吉川編集委員)



**株式会社 キッズライト 様**

日赤大宮病院の跡地に出来た島忠ホームズ北側のビル1階に、(株)キッズライト代表取締役の片寄貴之様を訪ねました。

同社は未就学児の遊び場と小学生の児童保育を運営されています。奥側の半分近いスペースには机が並び、児童の学習用になっています。

「当社では、ただ児童を預かるだけでなく学習にも力を入れていきます。子供達は家に帰るのが遅く、勉強の時間が取れないので、ここで宿題を済ませて帰ります。親御さんからも喜ばれています。室内には遊具や絵本等を揃えています。テレビ等は置いていないし、持ち込まないので、ゲームをしてる子はいません。友だちと一緒に人間関係も学ぶ場なんです」と言われます。

現在、1日15名ほどの児童が来てますが、この春から20名になる見込みとのこと。

片寄さんは青森県のご出身、子供と遊ぶのが好きで、教育学部を卒業した後、教員が使用するシス



テムを開発するIT企業に勤務されました。その後個人で、あそびラボ、スタディラボを立ちあげ、2年間の実績を経て法人化、(株)キッズライトの運営になったとのこと。

「半年前からはシルバーさんをお願いし、4人の女性会員でローテーションを組み、近くの上落合小・桜木小から児童の下校時間に合わせ、スタディラボまで安全に引率する仕事に当たっていただいています。子供達に適切に注意したり、臨機応変な対応で頼りになります」とのことでした。(取材・馬場編集委員)

**株式会社 武蔵野銀行**

**岩槻支店 様**

岩槻の中心街、本町にある武蔵野銀行岩槻支店に、次長の東海林靖裕様をお訪ねしました。武蔵野銀行様は一九五二年設立、埼玉に新たな価値を創造する『地域No.1銀行』として県内に90店舗余の支店がある、埼玉に立脚した銀行です。大宮桜木町の本社ビルは現在新築中で耐震性の高い14階になり、災害時、避難受け入れ機能をも持つそうです。

東海林次長は昨年4月に、神田の東京支店より岩槻支店に赴任、新白岡より電車で通勤されています。生れは福岡で東京の大学入学時より埼玉住まい、「埼玉での生活の方が長くなった」とのこと。

「Yさん(女性のシルバー会員)に、銀行内外の清掃業務(月・火・木・金の週4日、8:30～11:30の3時間/日)を依頼しています。Yさんには行員では気が付かない隅々まで、きれいに清掃してもらっているので大変助かっています」とのこと。

た。

「Yさんは70代ですが、健康で明るく、丁寧な仕事ぶりは、余人に代えがたく、彼女の都合の続く限り、いまの業務を継続してほしい」と希望されていました。

「Yさんは体調不良などで、休むこともなく、コミュニケーションも豊かで、行員の一人と感じ、接しています」とのこと。

「Yさんは行員では行き届かない銀行内外の清掃の他、長い時間駐車のままの車や、窓ガラス破損の通報等、防犯面にも気を配ってくれます。また店頭前の歩道に市が設置した花壇の手入等、環境美化にも積極的に対応頂いています」と感謝の言葉がありました。

(取材・菅野編集委員)



## 地域班活動

### 北区 第一地域

地域長 田中 康資

北区第一地域は、九班、約180名の会員で構成されています。日進町二丁目自治会と協力して、各種の事業の実施を行っています。

班長会議は、毎月開催されています。例年の事業計画としては、地域会議、奉仕活動、ともに2回実施されているほか、毎年「大宮日進七夕まつり」の準備等に、ボランティアとして多くの会員が参加しています。

しかし、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症防止のため、一部を残して、すべて見送りとなりました。

奉仕活動は、餅つき踊りで知られた隣接している日進神社の境内と上加公園の清掃を、春と秋の2回実施することとしておりました。しかし、春の行事も見送りととなり、唯一、11月の秋の奉仕活動のみ実

施することになりました。これは、七五三のお祝い行事が実施されることから、自治会の要請もあつて11月5日に実施し、25名の会員が協力しました。

このほか、親睦会の行事では、会員相互の親睦を図る目的で実施されてきた、春のお花見会と新年会も、残念ながら中止となってしまいました。次年度は、本年度の分も加えて活発に実施していきたいと考えています。



### 緑区 第一地域

地域長 西川 義清

緑区第一地域は五班制で、三室・山崎・馬場・松木・宮本地域を担当し、会員数は117名で構成しています。

当地域では年2回(6月・11月)地域会議(和楽荘)を開催し、30%以上の出席率を目標に、班長さんは「会員ニュース」と「地域会議実施のお知らせ」を配布し、会員の皆さんに直接及び電話によるお願いで、出席率の向上に努めています。

地域会議では決算書・活動報告・次年度の計画(親睦互助会関連を含む)等の報告を行なって会員相互のご理解をいただき、会議終了後、イベントタイムとしてゲームを楽しんでいただいています。

さいたま市が企画している「出前講座」を利用して、緑区役所高齢介護課、東浦和警察署、消防署等に講演をお願いし、会員の日常生活に役立てていただいています。

班長会議は年5〜6回実施、各種ボランティア活動にも積極的に

参加し活動しています。

令和元年11月にはプロの三味線演奏者を迎え、津軽三味線演奏会を和楽荘で実施し、会員53名と過去最高の出席があり、大盛況にて終える事ができました。

毎年7月には緑区三地域合同班長会議を実施して、都度テーマを設けて意見交換し、班長同士の親睦を図っています。

令和2年度は新型コロナウイルス予防のため、地域活動の全てが中止に。令和3年度においては積極的に活動していきたいと思っています。



## 親睦互助会

### 「コロナ禍で諸活動の

#### 自粛・制限の中で」

大宮支部 田島 務

新型コロナウイルス感染拡大が続く、終息への姿がますます見えにくくなってきました。

大宮支部「ふれあい会」では6月に定期総会を開催の予定でした。

近年、総会参加者は減少傾向にあり、かねてより会員から今後の総会は開かず資料配布で十分ではとのご意見もありました。役員会で検討を進め今回の定期総会に諮る予定でしたが、折からの緊急事態宣言発令でそれがかなわず、急遽5月12日「ふれあい会ニュース」臨時号でお知らせし、葉書でのアンケート方式を採用しました。結果は会員数二〇九七名、回収数一五二一名、中止に賛成一四六二名、継続すべき41名、無効18名でした。この投票結果を踏まえ、今後の総会は中止とし、皆様にはその旨お

知らせしました。他支部の皆様方にもご理解をいただくべく、本稿でお知らせすることとしました。

ふれあい会令和2年度事業報告

5月：第10回4支部グラウンド

ゴルフ大会(八王子公園) 中止

6月：定期総会 書面にて議決

7月：第1回グラウンドゴルフ大

会実施(宮原公園)

10月：第2回グラウンドゴルフ大

会実施(堀崎公園)

秋の日帰りバス旅行 中止

新年は、安心して日常生活が出来るよう、ご祈念申し上げます。



### 「浦和支部活動のご紹介」

浦和支部 畑 佳一朗

浦和支部は、例年様々な行事を実施してきました。コロナ禍の今年度は、幹事会で「安全・安心して事業が実施できない場合は、無理をしないこと」と決定し、結果的に多くの事業を中止するに至っております。

このような状況から、今回紙面では、浦和支部の活動全般を改めてご紹介させていただきます。

浦和支部では、会員数は二〇〇〇名程で、福利厚生事業として、四支部グラウンドゴルフ大会への参加(20名)、会員作品展(10月出展数100点)、旅行(募集人数100人で秋に日帰り旅行と、80人募集の一泊旅行)を交互に実施します。新年懇親会は募集人数100人で1月に開催しています。また、シルバーゴルフ同好会(会員数34名)、フォート・ウォーキング同好会(47名)、ハイキング同好会(32名)、書道同好会(13名)、シルバーグラウンドゴルフ同好会(34名)、の各同好会活動も

行なっています。

給付事業としては、敬老祝い金の支給、及び地域活性化支援の事業を行っています。

例年のように多くの会員に参加いただく福利厚生事業を再開し、皆さんに楽しんでいただける時期が早く訪れることを祈るばかりです。



## 「与野支部活動のご紹介」

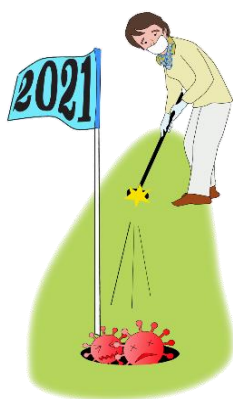
与野支部 山内 忠義

親睦互助会与野支部では、今年2月頃からの新型コロナウイルス感染者の増加や「緊急事態宣言」が発令されたこと等により、定期総会は委任状形式の「ミニ総会」にし、令和2年4月24日に開催しました。その他の行事は全て中止となりました。

このような状況下で、与野支部では2つのことを実施しました。

1 点目は「親睦・互助会会員ニュース」の発行です。これまで与野支部では会員の皆様に支部活動状況を報告するのは総会だけででした。これでは総会出席者だけへの情報提供になってしまうので、会員全員に活動状況を提供するべきだと役員会で決議しました。そして、6月には創刊号を発行し、9月には第2号を発行して、全会員に配布し、情報を提供しました。

2 点目は与野支部として、初めての「グラウンドゴルフ大会」を10月16日に開催しました。参加者は



16人でしたが、好天の下、ホールインワンが出ればメンバーの拍手喝采があり、バーデいを外すとおしかったな、と慰め合い、楽しい1日でした。優勝は福田正司さんでした。

## 「岩槻支部 みどり会の活動」

岩槻支部 井村 詩

親睦互助会岩槻支部「みどり会」の活動をご紹介します。

当支部は会員数670余名で、会員相互の親睦を図ることを目的として活動しています。

支部の活動としては、秋の日帰り親睦旅行を9月下旬に行い、募集人員80名、バス2台の旅で親睦を深めます。

新年会は笹久保にあるさいたま市の社会福祉施設「槻寿苑」で、1月第4週の土曜日に、募集人員120名で行っています。

みどり会の総会は5月第4週の金曜日に行い、給付事業・喜寿祝い（対象は在籍5年以上で77歳を迎えられた方）も同時に行っています。

地域参加事業としては、10月に岩槻文化公園で開催される「やまぶきまつり」の会場で、さいたま市シルバー人材センター表示入りのティッシュペーパー、ちらし等を配布し会員を募集、仕事の案内等も行います。



同好会の活動はグラウンドゴルフ愛好会（30名）があり、11月11日に岩槻大会を開催、24名の参加で、有意義な親睦の時間を過ごしました。また、ドンパン会（踊りの愛好会25名）、寿友会（カラオケ愛好会15名）、岩槻手芸会（25名）と、4つの愛好会があり、定期的に活動しています。

今年度は新型コロナウイルスの関係で、自粛もあり、まばらな活動となっています。

## お知らせ

当センターでは、来年度設立20周年という節目の年を迎えるにあたり、就業や地域活動で着用いただいている帽子のイメージアップを図るため、爽やかで活動的なデザインに変更することにいたしました。

スタイリッシュな色や形となり、男性だけでなく女性も着用していただけるほか、グラウンドゴルフやウォーキングなどでも幅広くお使いいただけるものと思います。

また、この帽子はオールシーズン用ですが、後方をメッシュの生地にする事で、通気性も良くなり夏の熱中症対策にもつながります。

なお、新しい帽子は、令和3年4月から1個700円にて販売させていただきますので、ご希望の方は各事務所までご連絡ください。また、これまで就業や地域活動

### 1個700円での販売になります



で必要な方には無償で貸与していただきましたが、今後は帽子の貸与はなくなります。

しかし、現在お持ちの帽子はこれまでどおり着用いただけます。



### 表紙の言葉

与野の大力ヤ

推定樹齡千年、周囲7.3m、六百年前の応永年間に既に関東一円の巨木として知られていたという。老木の迫力ある樹形に力を与えられます。

### 編集後記

終息の見通しが立たないコロナ禍の中で、新年号をお届けします。年配者は重篤化しやすいとのことですが、当面はウィルスと共存して(ウィズ・コロナ)暮らすしかなさそうです。

今年は21世紀に生まれた若者が初めて成人となります。

「20歳だろうが80歳だろうが、学ぶことをやめた者はみな老人だ」とはヘンリー・フォードの言葉。我々も気持だけは若者に負けず、前を向いて歩んでいきたいものです。

(編集委員会)